○○○○システム

内部設計書

1. 版

20\*\*年　\*月　\*日

システム開発演習B

*学生番号・氏名*

1. 開発環境

○○○○システムを開発するに当たり、次の開発環境を利用する。

・プログラム言語 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

・設計書作成ソフト ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

・バージョン管理

（バージョン管理とは、プログラムの途中の全段階を保存し管理するシステム。今回の授業では特別なソフトを使わず、途中のプロジェクトごとにバージョン番号をつけて、分けて保存しておけばよい。）

２．　動作環境

〇○〇○システムの動作環境は、次のとおりである。

・OS □□□

・デバイス □□□

・ターゲット ○○○○

・CPU/ABI ○○○○

・キーボード □　ハードウェアキーボード

・スキン ○○○○

・フロントカメラ ○○○○

・バックカメラ ○○○○

・メモリーオプション RAM ○○○○MB VM　○○○○MB

・内部ストレージ ○○　MB

・SDカード サイズ　○○○○　MB

ファイル

・ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝｵﾌﾟｼｮﾝ □　スナップショット

* ホストGPUを使用する

３．　用語の定義

(1) ＠＠＠＠＠端末

利用者から入力された情報に基づき、〇〇〇〇を表示・案内する端末

(2）＠＠＠＠＠

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

４．アプリ構成ファイルの仕様

4.1　ファイル構成

＊＊＊＊アプリは、Android OS端末を用いて操作・表示するため、すべてのファイルは、Androidアプリケーション・プロジェクトに集約される。

Androidアプリケーション・プロジェクトは、次のファイル群で構成される。

・srcフォルダ内

1. MainActivity.java（または相当するファイル）
2. （例）MySurfaceView.java（SurfaceViewを利用する場合）
3. その他の特定機能を実現するクラスのJavaプログラム

・res／drawable-hdpiフォルダ内

1. launcher用アイコン画像ファイル
2. その他の画像ファイル

・res／layoutフォルダ内

1. activity\_main.xml　（部品レイアウト記述ファイル）

・res／valuesフォルダ内

1. dimensions.xml
2. strings.xml
3. styles.xml

・AndroidManifest.xml

　・その他

4.2ファイル仕様

4.1で示した＊＊＊＊アプリを構成するファイルの仕様を示す。

1. MainActivity.java（または相当するファイル）

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. （例）MySurfaceView.java（SurfaceViewを利用する場合）

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. その他の特定機能を実現するクラスのJavaプログラム

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. launcher用アイコン画像ファイルおよび、その他の画像ファイル

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. activity\_main.xml　（部品レイアウト記述ファイル）

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. dimensions.xml

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. strings.xml

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. styles.xml

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. AndroidManifest.xml

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

1. その他のファイル

〇○〇の＋＋＋を行う。＠＠＠＠から受け取った＊＊＊情報を＃＃＃＃ファイルに渡す。＊＊＊ 情報には「＠＠＠」と「＋＋＋」が含まれている。

4.3 ファイルの処理フロー

（MainActivity.javaのように、ボタンイベントなどに起因して処理が進むプログラムに関して、その動作がわかるような処理フローを描くと良い。）

1. MainActivity.java

図○〇 に、MainActivity.javaの処理フローを示す。

図○〇 MainActivity.javaの処理フロー

(2）〇○〇ファイル

図＊＊に、〇○〇ファイルの処理フローを示す。

図＊＊〇○〇ファイルの処理フロー

4.4 ファイルのインタフェース

(1）MainActivity

・メソッド名 ＠＠＠

・引数 ＋＋＋

・戻り値 ＊＊＊

(2）〇○〇ファイル

・メソッド名 ＠＠＠

・引数 ＋＋＋

・戻り値 ＊＊＊

以上